

COMPUTEX TAIPEI 2014 開催概要

主催:台北市コンピュータ協会(TCA)、台湾対外貿易発展協会(Taitra)

会期:2014年6月3日(火)~6月7日(土)

時間:午前9時半~午後6時まで(但し、最終日は午後4時まで)

会場:台北世界貿易センター(信義区4会場)、南港ホール(南港地区)

出展規模:1,800社、5,300小間

来場者数:来場者総数13万人/外国人バイヤー登録者3万5,000人

※2013年実績:バイヤー登録者169か国から3万5,743人



◆COMPUTEXの特徴

- 1) 出展企業数は**1,724社**(2013年実績)、出展規模、**5,042小間**(2013年実績)、前年比9%成長で過去最高規模にて開催
2008年から南港(NanGang)ホールが加わり、従来の信義会場(世界貿易センター)と南港会場と2か所5会場で実施。
- 2) 来場者総数13万0,013人、うち外国人バイヤーは169か国から3万5,743人がバイヤー登録。これだけの外国人バイヤーが集まる展示会は、アジアでは最大規模。世界的にも見てもCEBITに次ぐ世界第二位のITトレードショウ
- 3) 来場者の目的はその年の「クリスマス商戦」における製品買い付け。6月のCOMPUTEXに製品が出揃い、夏から秋に向けて量産、クリスマス商戦に向けて製品が良妻MPUTEXで決まると言われている。
- 4) 第3ホールには展示会のトレンドがわかるテーマパビリオンが出展。Smart Technology Applications & Productsパビリオンでは下記のテーマで技術提携や共同開発パートナー、市場開拓パートナーを求める国内外のベンチャーが出展。
- 5) もうひとつのトレンドを知る方法はCOMPUTEX Award Best Choice受賞製品をチェック。会期直前に受賞製品がネット上で発表になる。視察前、事前にアワードエントリー製品と受賞製品のチェックをしておくことをお勧め。



◆Smart Technology Applications & Products Pavilion 10の特設テーマパビリオン

Intelligent Vehicle System (インテリジェントビークルパビリオン)、Energy Supply Management (エネルギーサプライマネジメントパビリオン)、Education (エデュケーションパビリオン)、Security Solution (セキュリティソリューション)、Medical and Health Care (メディカル&ヘルスケア)、Cloud Applications (クラウドアプリケーション)、Internet of Things (IOT/ユビキタス)、Display Technology (ディスプレイテクノロジー)、3D Printer(3Dプリンターパビリオン)、Smart Wearable Device(スマートウェアブルデバイスパビリオン)

※日本企業はエリアを指定して出展することが可能です。詳細はお問い合わせください。また、上記のCOMPUTEX2013の事例です。テーマパビリオンの設定はトレンドにあわせて毎年調整があります。詳しくはTCA東京事務所までご確認ください。

◆TCA東京事務所より「COMPUTEX2013 レポート」を提供/視察及び出展の「個別相談」を実施中【無料】

出展企業のデータベース/CD-ROM、「COMPUTEX2013レポート」を提供いたします。自社製品/自社技術を台湾企業に売り込みたい、台湾経由で欧米市場の開拓、中国市場の開拓/ビジネスパートナー探し(台湾活用型による中国ビジネス)、台湾からの購買/調達、OEM/ODMパートナー企業探しなど、お気軽にお問い合わせください。また、グループや自治体が主催する現地視察にも対応します。ご興味がある方はぜひお問い合わせください。

Taipei Computer Association 東京事務所

〒151-0061 東京都渋谷区初台 1-51-1 初台センタービル 5F
TEL: 03-3299-8813 FAX: 03-3299-8815
携帯: 080-7046-7888

COMPUTEX2014 視察/出展 担当: 吉村
e-mail: jppc@tcatokyo.com
<http://www.tcatokyo.com>